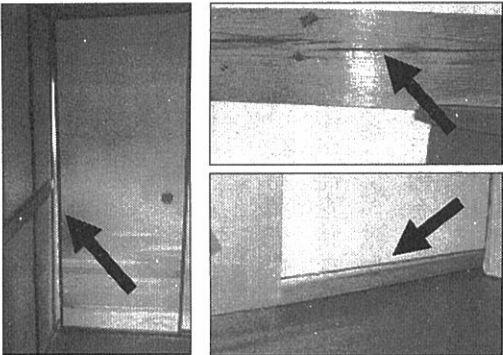


1号線・福木トンネル 地盤沈下の被害家屋は100軒以上に



福木トンネル直上の団地内家屋の中は、いたる所に隙間、亀裂などの被害が発生しています。

全面的な家屋補償を求める
高速1号線
高速1号線、福木トンネル工事により、木造家屋には致命傷ともいえる18・2センチもの地盤沈下が発生しています。今も、天井のハリに亀裂が生じ、家がさしむ音がするなど異変は広がる一方で、地盤沈下は未だに収まっています。被害家屋もトンネルから離れた地域にまで広がっています。一級建築士も「欠陥住宅よりひどい」と指摘するほどで、台風や地震がくれば、家屋が倒壊する危険性さえあります。ここまで被害を深刻にした原因と責任は公社と市にあります。住民が納得できる「基礎からの家屋補償」と謝罪を求めました。



一般質問に立つ中原ひろみ議員

12の市民団体から
5万筆の署名

そうしたなか、9月議会には二葉山に1・8キロのトンネルを掘る「高速5号線は中止を」という約5万筆の署名が、町内会や神社仏閣など12の市民団体から提出されました。トンネルが、家の地下13mをとおり町内会では、町民の9割が、トンネル反対の署名活動に参加されています。「世界一のシリブカガシが群生する、愛すべき二葉山を守りたい」「高速1号線トンネル工事のような被害を繰り返してはならない」との思いで、二葉山トンネルの建設中止を強く求めています。

高速5号線
中止する決断を

大阪府では、トンネルで水がれした滝に、年間3千万円をかけてポンプで地下水を流している人工滝の例もあります。二葉山は小さな独立峰であり、一旦地下水が抜けてしま

よかつたね！
35人学級へ大きく前進

これまで議会のたびに、少人数学級を求める署名や請願が粘り強く提出されてきました。

広島市は、その声に応えて、2008年度から2011年度の4か年計画で、段階的にすべての小学校と中学1年生までを35人以下学級にします。必要な教師は市費（年平均の事業費は約14億円）で雇用します。

来年度は97名を雇用、ピーク時には239人の教師が必要となります。



す。学級増に伴い不足する教室は仮設教室で対応します。中原議員は、進学問題や思春期をむかえる中学2年・3年生も、習熟度別授業でなく、少人数学級にするよう求めました。

えは、周囲からの地下水の供給はほとんどなく、山の水がれは深刻となり、樹木も枯れ、二葉山が死んでしまします。トンネル工事ありきの適当な環境アセスはやり直しが必要です。これまで議会では、「広島空港まで7分の時間短縮のために1千億円の事業費をかけて建設する高速5号線は、中止すべきだ」と繰り返し

高齢者に冷たい
「後期高齢者医療制度」の
中止・撤回を求める！

来年4月から

保険料の天引き！

昨年6月、自民党、公明党が国会で採決を強行した医療制度改悪で「後期高齢者医療制度」の準備が進んでいます。来年4月から75歳以上の高齢者全員が現在加入している国保や健保を強制的に脱退させられ、新たな制度に組み入れら

し訴えてきましたが、採算性、必要性の無さに加えて、二葉山と住環境を守る視点が重要性を増しています。公共事業見直し委員会でも、「大方の合意がない」として「事業の中止」を判断していました。地元住民合意はなく、すぐにでも高速5号線建設は中止すべきです。

保険料の取り上げ！
医療内容も差別！

今は75歳以上の高齢者に、「資格証明書」は発行していません。しかし、これからは、保険料を滞納す

れます。特に、扶養家族として、子どもの健康保険に加入している高齢者は、75歳以上になると新たに年間約7万円以上の保険料を年金から天引きされることとなります。



第63号 2007年10・11月
発行／日本共産党広島市議員団
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 (市議会内)
TEL082(244)0844 FAX082(244)1567
Eメール k-shigi@jcp-hiro-shigi.jp
日本共産党広島市議員団の活動を紹介します。

安心して病院にも、買い物にも
行けるまちづくりを

「高齢化のすすむ団地内に巡回バスが通れば」との声が、ますます大きくなっています。中原議員は、NHKの「ご近所の底力」で放映された千葉県我孫子市を視察し、取り組みを紹介。

我孫子市は、自動車学校や病院、大学などの民間事業者が走らせている送迎バスの空席を活用

し、無料で高齢者、障害者の移動を確保する取り組みを行っています。

市民の生活権を保障する視点で、行政が積極性を発揮することを求めました。

市は、「生活交通の確保の一つの有効な方法として考え、地域の実情を把握していく」と答弁しました。

**政務
調査費**

すべての領収書を公開

来年4月分から

市民世論が 議会を動かした

昨年12月、政務調査費について市民団体が監査請求をして、自動車の購入や靴や洋服代など385万円を超える不正使用が明るみに出ました。

市民の大きな批判を呼ぶ中で、今年の2月、日本共産党などが提案した領収書を全部公開するという条例改正案が反対多数で否決、世論の憤激の中で行われた市会議員選挙を経て、「議会改革検討会議」を設置、そこでやっと領収書は全部公開するとの合意ができました。

辞職勧告案を否決 反対理由も言わずに

子ども会連合会の経費で出張しながら、政務調査費にも旅費を請求し、4年間で16回113万円も旅費の二重取りをくりかえすという、公金詐取行為を行っていた西区の山田春男議員に対する辞職勧告決議案が、46人の反対で否決されました。

山田春男議員は、みずから事実を認めていたわけで、議員を辞職するのは当然です。事務的なミスではありえない悪質な行為で、青少年の健全育成の立場とも両立しません。

また、市民が強い関心をもって注目する重大な問題を反対多数で否決するのには、反対理由を述べる議員が一人もいなかったのは、たいへん情けないことです。

またもや 政務調査費不正使用

7月に行われた市民団体の監査請求で、今年2月に続いてまたもや政務調査費の不正使用が明らかになりました。

柳坪進議員（西区・自由民主党新政クラブ）
●市長選に関する情勢分析で東京、3回
215,340円

土井哲男議員（安佐南区・市民市政クラブ）
●年賀はがき1200枚購入費
60,000円

●名刺5万枚分 印刷代金
122,850円

費用弁償（一律の交通費）は残した 24人の議員が公約違反

しかし、議員特権と強い批判があつた費用弁償（一律1万1千円の交通費）は、残す理由も金額の根拠も説明できなかった。いま、金額を8千円と5千円に減らしただけで、一律支給の制度として存続させることを39人の賛成で決めてしまいました。

このうち24人は、市会議員選挙の時の公約と違う公約違反の態度です。

日本共産党市議団は、独自に制度を「廃止」する議案を提出し、市民の期待にこたえるために最後まで奮闘しました。

議長に 抗議の電報

山田議員への辞職勧告決議案を否決して終了した本会議の直後、議長あてに「市民として許せない、即辞職すべきだ」との抗議の電報が届きました。

市民の目はごまかせません。

市民の声を委員会でもとり上げました

 <p>厚生委員会</p> <p>中森辰一 293-3563</p> <ul style="list-style-type: none"> ●税源移譲による国保料の負担増を放置するとの市の方針を批判、減額を要求しました。 ●高齢者・障害者に必要な介護を保障するセフティネットの仕組みをつくれと要求しました。 ●黒い雨地域の拡大のために、地域住民への聴き取り調査を早急に実施するように求めました。 	 <p>建設委員会</p> <p>村上あつ子 261-5116</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高速2号線関連事業で新大州橋架け替えと歩道の拡幅工事は6年近く続くことが答弁でわかりました。期間中の安全対策に最注意を要望。 ●県庁前にある視覚障害者誘導用道路横断帯（エスコートゾーン）の設置を広げるよう要望。 	 <p>文教委員会</p> <p>中原ひろみ 890-2266</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来年度から学校に、第三者評価が導入されます。2003年度からスタートした自己評価・外部評価に続き学校は評価づくめ。学校現場を息苦しくする評価でなく、教師が専門性を発揮できる条件整備についての評価こそ必要と指摘しました。 	 <p>総務委員会</p> <p>皆川恵史 221-0708</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「夫婦で営業しているのに、妻の労賃を認めないのはおかしい」「所得税法56条の廃止を国に求めてほしい」という業者婦人の声をとりあげました。妻や子どもの自家労賃を認めていない国は日本だけです。そのため税金が2倍にも。確におかしい！ 	 <p>経済環境委員会</p> <p>藤井とし子 877-6827</p> <ul style="list-style-type: none"> ●イオンの三菱工場跡地への出店問題で、周辺住民や市との合意のないまま計画を進めないよう、再度、着工前に計画を見直すよう働きかけることを求める。 ●家庭ごみ有料化ではなく、生ごみ等の資源化で可燃ごみを削減し、ごみ処理経費の削減に努力するよう求める。
--	---	---	---	--